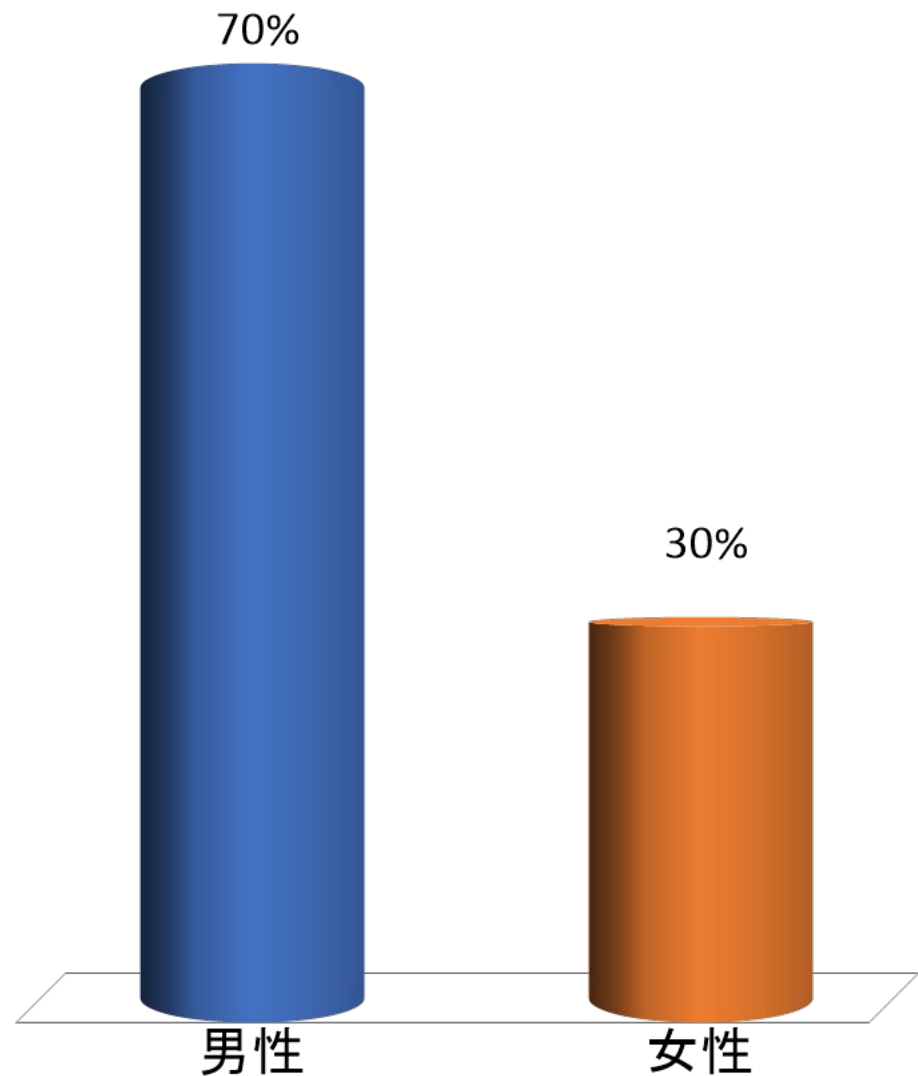


# 減災シンポジウムin中津

—災害多発時代を生きるために—

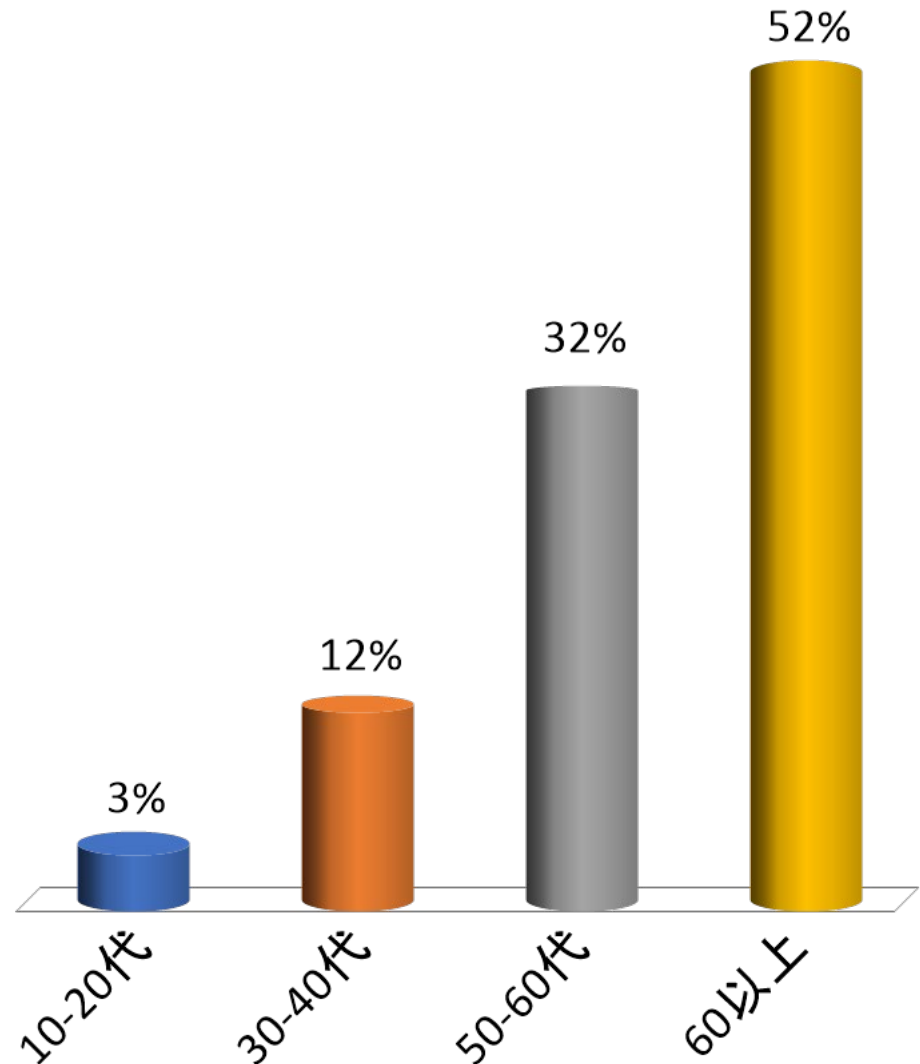
# 性別について

1. 男性
2. 女性



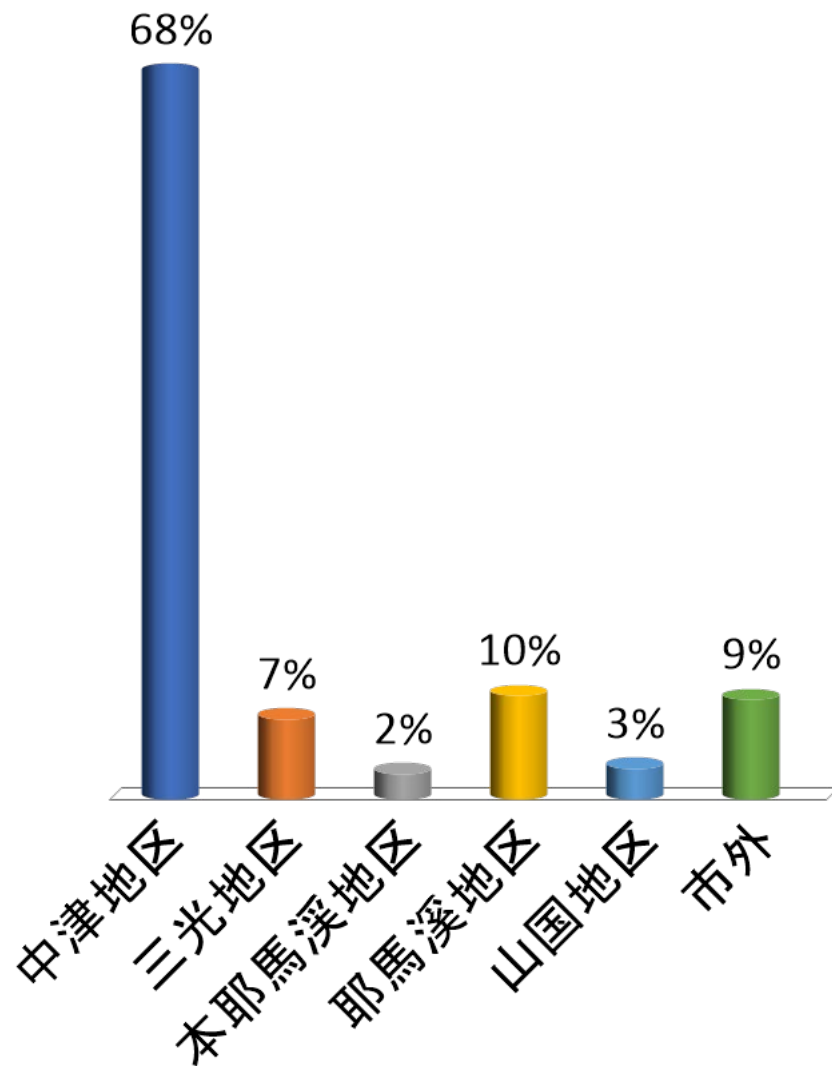
# 年齢について

1. 10-20代
2. 30-40代
3. 50-60代
4. 60以上



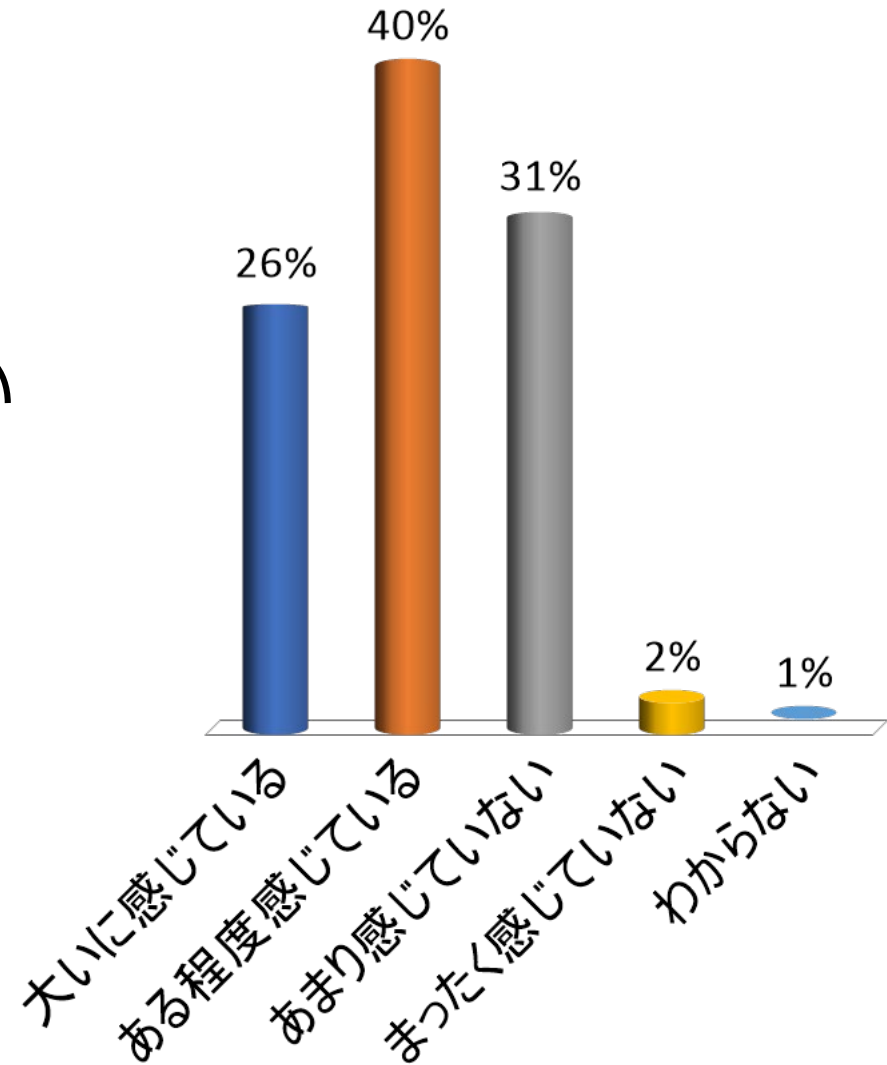
# 居住地区について

1. 中津地区
2. 三光地区
3. 本耶馬溪地区
4. 耶馬溪地区
5. 山国地区
6. 市外



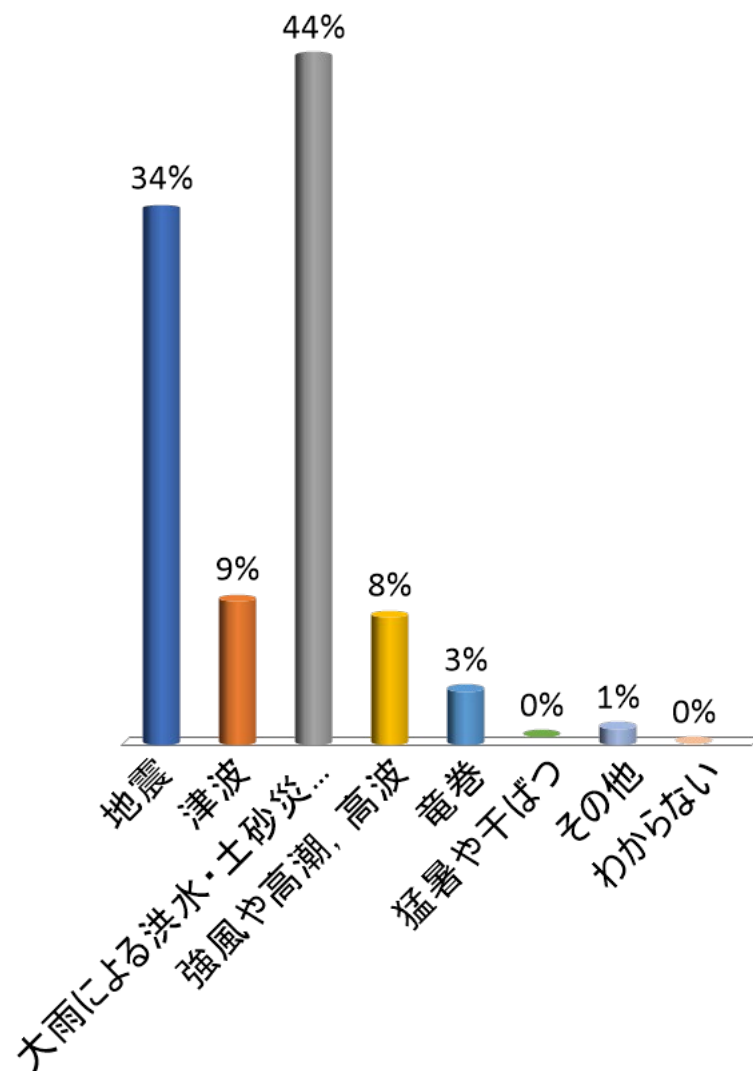
# 住んでいる地域で大きな自然災害が起きるので はないかと不安を感じることはありますか。

1. 大いに感じている
2. ある程度感じている
3. あまり感じていない
4. まったく感じていない
5. わからない



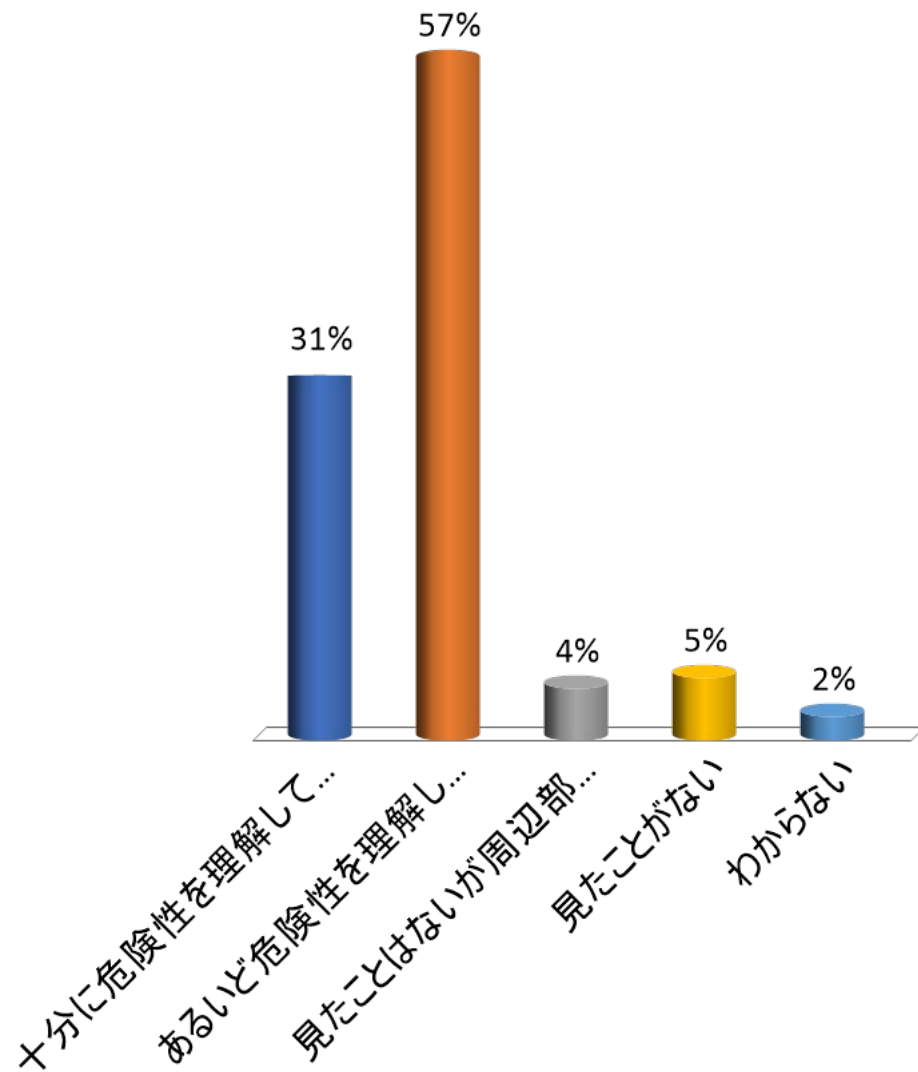
# 住んでいる地域で最も不安に思う 自然災害は何ですか。

1. 地震
2. 津波
3. 大雨による洪水・土砂災害
4. 強風や高潮, 高波
5. 竜巻
6. 猛暑や干ばつ
7. その他
8. わからない



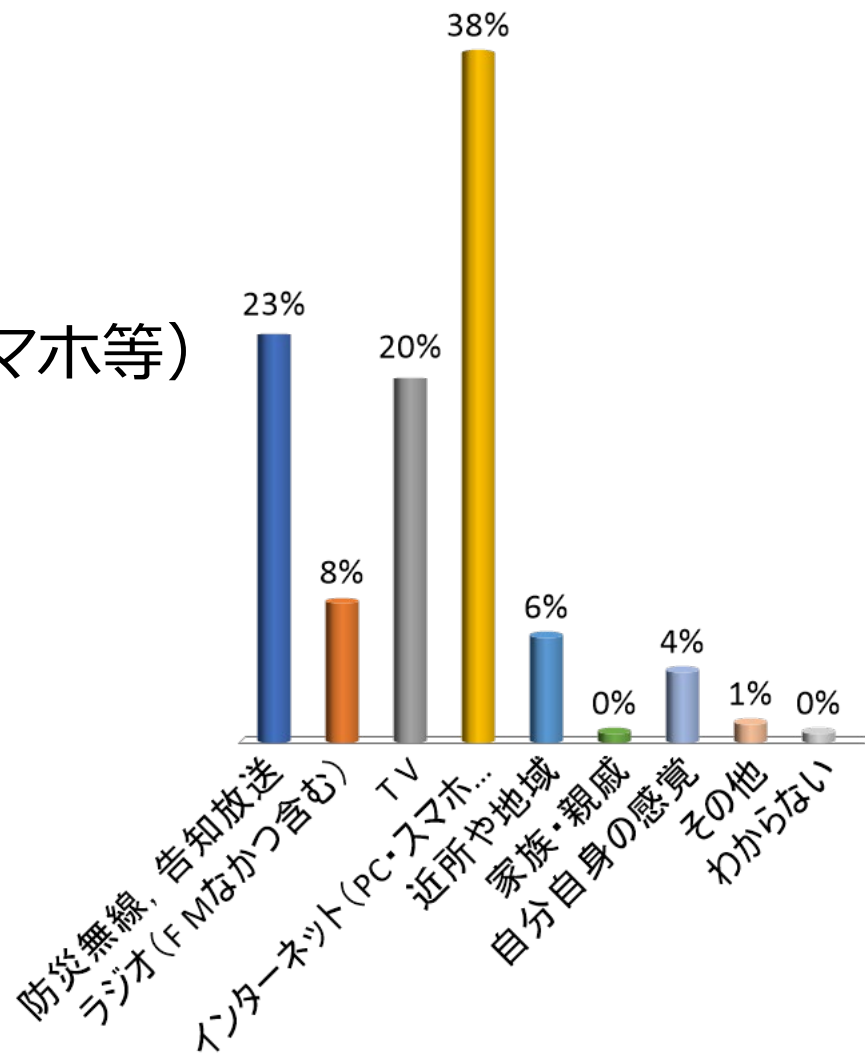
# ハザードマップ（防災マップ）について

1. 十分に危険性を理解している
2. あるいど危険性を理解している
3. 見たことはないが周辺部の危険性は理解している
4. 見たことがない
5. わからない



# 災害時に避難を促すために最も重視 (頼り) する情報伝達は何ですか

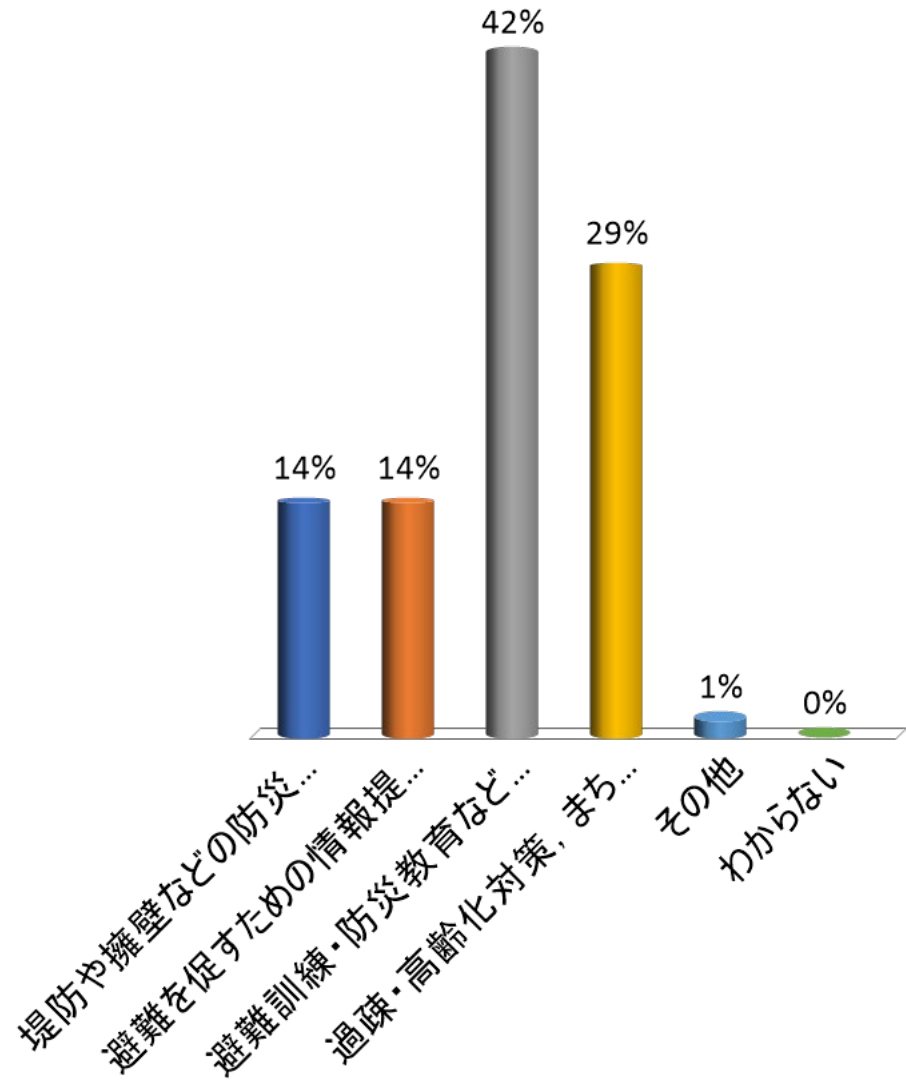
1. 防災無線, 告知放送
2. ラジオ (F Mなかつ含む)
3. T V
4. インターネット (P C・スマホ等)
5. 近所や地域
6. 家族・親戚
7. 自分自身の感覚
8. その他
9. わからない





# 自然災害に対して今以上に最も重視する対策は何ですか

1. 堤防や擁壁などの防災対策など（ハード整備・公助）
2. 避難を促すための情報提供など（ソフト対策・公助）
3. 避難訓練・防災教育など（自助）
4. 過疎・高齢化対策, まちづくり, コミュニティ形成など（共助）
5. その他
6. わからない



# 災害多発時代における中津市（居住地域） の未来に対して最も必要な力とは

1. 行政
2. 地域
3. 自分自身
4. わからない

